

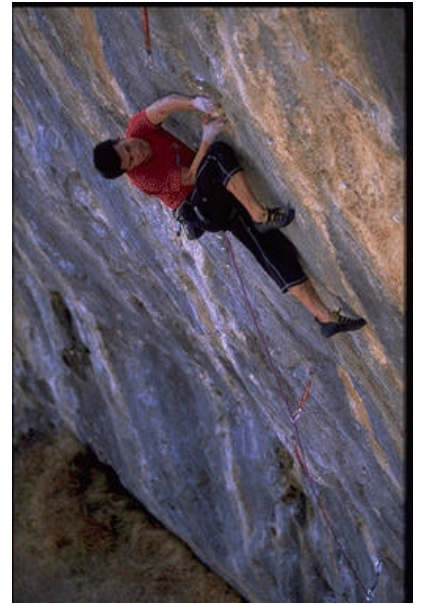
I-3 アンドノ Andonno

アンドノの岩場はフランス国境にほど近い場所に位置する。どのガイドブックを見ても5つ星であったり北イタリア1,2を争うと言われている。ただし個人の感じ方の問題なのでなんともいえないが私自身はそれほどでもない感じがする。実際有明のXゲームでしょくにセッターをしたフリアンソんに住むチエゴに言わせれば、フリアンソンからも近いので何度か行ったことがあるが面白くないと言っている。その原因はチッピングによるルートが多いことと、ナチュラルなラインが多いエリアでも登れるルートの多さがスラブっぽいからではないだろうか。

私が行ったのは10月後半でかなり寒くクライミングをするつもりで岩場に出かけたのだが、あまりの寒さにめげてしまった。雨が多く、メインのエリアはほとんど洪水状態で実際には登っていない。その為今回は見た目の感想なのであまり参考にしないでほしい。暖かくて、染み出しがない時に来たら印象はかわるかもしれない。

岩質
石灰岩。

平山ユージ



ルート

岩場は村の裏手に大きくそびえていて、エリアは大きく分けると5ヶ所ある。ちゃんとしたトポを持っていないのでさだかではないがアプローチが途中で2つに分かれる所を左に登っていった一番奥地にあるのがSURPLOMBでドゥカボのエリアで高難度のチッピングルートが揃っている。高さはあまりないが見た目は一番面白そうである。その手前には二子のような色をしたエリアAMPHITEATREで傾斜はそれほどないがまあ面白そうである。次に二股のアプローチをまっすぐ行って20mほどのフィックスロープを登ったところがセクターCENTRAL。ここは左端がハングして、右端は巨大なスラブと垂直の壁である。その右奥にあるのがセクターDROITE。ここはあまり傾斜がないが適度なグレートが揃っている。ただし奥へ行くほどスラブになる。

シーズン

春から早秋。標高が高いため結構寒い。

宿泊

今回は通りがかりに寄っただけなので不明。CUNEOの街にはホテル、キャンプ場はある。

ショッピング

アンドノは小さな村なので何もなし。10キロほどトリノに戻ったBORGOS.S.Dの街にスーパーなどはある。トポは95年のバーチカル、グランプ29号のものを使用した。ちゃんと買ったほうが分かりやすい。

アプローチ

フランスのモナコ周辺からは山道なのでいったんイタリアに入ってから20号をTENDE方面へ向かう方が早い。途中フランスにいったん戻る形で岩場のあるTENDEを過ぎ、トンネルの国境を経て再びイタリアへ。BORGOS.DALMAZZOの街でANDONNOの看板にしがって約10キロで村に着く。村の中心からちょっと山に上がった所がパーキング。そこから水平道を10分ほど歩くと高原状の風景に変わる。そこに2股の分岐がある。

2000年秋 木村伸介